

起案 郵 紙

番 號

官房第三九九

大正八年度軍備補充費ヲ以テ横須賀海軍工廠ニ於テ

航空母艦命名ノ件

侍從長宛

大正十年十月十九日

大臣

軍務局長	第一課長	第二課長	第三課長	第一課長	軍務	機務	艦政	人事	軍務	官房	局部
參事官	副官	第四部長	第五部長	總務部	機務	艦政	人事	軍務	官房	局部	受月日
軍務局長	第一課長	第二課長	第三課長	第一課長	機務	艦政	人事	軍務	官房	局部	發月日

大正十年十月十九日 起案者 捺印
 十月十九日 發付 捺印
 案者捺印

本艦 10.10.10 受接
 10.10.10
 10.10.10
 10.10.10
 10.10.10
 10.10.10

0345

建造ニ著手ニシテ第七特務船鳳翔ヲ航空母艦トシ
右ノ通り命名致シ候間可然、御執奏相成度
右申進ス

航空母艦

鳳翔

帝國海軍艦士定メシ候

0346

起案部紙

十月四日 上呈
 十月五日 御裁

番號

✓ 老ノ通奉仰

軍艦進水ノ件

大正十年十月

允裁候

大臣

宣務局長

第一課
 第二課

第四部長
 第五部長
 第六部長
 第七部長
 第八部長
 第九部長
 第十部長
 第十一部長
 第十二部長
 第十三部長
 第十四部長
 第十五部長
 第十六部長
 第十七部長
 第十八部長
 第十九部長
 第二十部長

第一課長
 第二課長
 第三課長

軍令	水路	臨建	教育	造兵	軍本	法務	經理	海務	機關	艦政	官房	局部

0347

(提案)

總政本部長

大臣
 次官

副官
 參事官

大正十年十月廿九日起案

除印

目發付

發付後起

本續 10.11.2 受接

本續 10.10.29 受接

本續 10.10.28 受接

本續 10.10.24 受接

本續 10.10.21 受接

本續 10.10.21 受接

本續 10.10.21 受接

本續 10.10.21 受接

本續 10.10.21 受接

横須賀海軍工廠ニ於テ製造ノ軍艦鳳翔来ル十一月十三日
進水セシメラル

官房第三七八の號

大正十年十一月四日

横鎮司令長官宛

軍艦進水ノ件

其府工廠ニ於テ製造ノ軍艦鳳翔来ル十一月十三日

進水セシメラル

右傳達ス

大臣

大正拾年七月四日 發希濟

終

0348

房三ノ二

大正十年十一月四日

次官

侍從武官長

宛 (各通)

東宮武官長

大正拾年十一月四日 發布濟

軍艦進水ノ件

横須賀海軍工廠於製造ノ軍艦鳳翔未ル十一月十三日

進水セレメラル

右通知ス

追テ本艦ハ工事ノ都合上横須賀海軍工廠

ヨリ船体工事ノミ株式会社淺野造船所ニ下請セシメ

タルモノニ候條知相成度候

(3)

起案部紙(2)

0349

起案郵紙

大正十年十月十九日

起案日

起案者

捺印

月

日發付

發付掛捺印

發付後起案者捺印

起案者捺印

本艦 10.11.2 受接

(提案)

艦政本部長

副官

第四部長

河合部員

河合

軍務

官房

受月日

發月日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

大臣

次官

參事官

副官

總務部長

第一課長

第二課長

第三課長

第四課長

第五課長

第六課長

第七課長

第八課長

第九課長

第十課長

第十一課長

第十二課長

第十三課長

第十四課長

第十五課長

軍務局長

第一課

第二課

第三課

第四課

第五課

第六課

第七課

第八課

第九課

第十課

第十一課

第十二課

第十三課

第十四課

第十五課

第十六課

第十七課

局部	官房	軍務	人事	艦政	醫務	經理	法務	技本	造兵	教育	臨建	水路	軍令
受月日	發月日												

進水命令書案
 鳳翔大正九年十二月エヲ起シ今ヤ船體成ルヲ
 告ケ茲ニ命名ノ式ヲ攀ケ進水セシメラル
 大正十年十一月十三日
 大臣

號番

承

通

0351

至急

積録のりあ

大正十年十月十五日

横須賀鎮守府司令長官 山屋 他

臨時海軍省事務管理

内閣總理大臣 原 敬 殿

第四部

海軍部員

河合 河合

總務課 艦鳳翔 進水 件

大正八年十月官定機密第一三九五號リ以テ建造方訓令相

成候軍艦鳳翔ハ當海軍工廠ノ都合ニ依リ淺

野ノ造船所アリテ船殼建造セリマシトモ工事進捗シ

來ル十一月十五日午後三時十五分進水セシメテ度

右軍艦進水想則第一條ニ依リ具申ス

(終)



0353

軍務局



海軍大臣

大正十年十月十三日午後三時五十分 鶴見祭

横須賀鎮守府司令長官

海軍省着

鳳翔本日午後三時五分無事進水セリ
右報告ス



軍務局 10.11.13

0354



軍務局

第一課

大正十年十一月十三日

午前四時二十分 鶴見局發
午後五時十二分 海軍省著

發信者 (在鶴見) 淡中監督官

受信者 艦政本部

電報譯

鳳翔本日(十一月十三日)午後三時十五分無事進水了



海軍

0355

起案郵紙

大正十年十一月二日起案

起案者 捺印

十一月十日發付

發付掛 捺印

發付後起 案者捺印

(擬案) 艦政本部長

前田

第四部長

東海部員 河合部員

大臣

次官

副官

參事官

副官

總務部長

第一課長

第二課長

軍務局長

第一課

第二課

前田

大正十年十一月十四日

大臣

侍從長宛

軍艦

進水件

號番

官房第三九號

軍令	水路	臨	教育	造兵	技本	艦政	司法	經理	醫務	人事	軍務	官房	局部
												受月日	發月日
												十一月十日	

紙用箋附

大正十年十一月
十一月十三日
時向記

0357 0356

部 房 務 事 務 理 政 法 本 兵 育 路 令

發付後起
案者捺印

受月日
發月日

土
子
日

軍
務
局

八

六

三

0357

0356

附箋用紙

大正十年十月二日 海軍艦政本部第四部
十一月十三日 逢水ノ報アリタル後
時向記ノ上 覆布相成度

横須賀海軍工廠に於て製造ノ軍艦鳳翔十三年午後三時
十五分時滞リナク進水相済候条可然此執奏相成度
右申進ス

官房第三八九七號之

大正四年十一月十四日

次官

侍從武官長
東宮武官長
(宛各通)

軍艦進水ノ件

横須賀海軍工廠に於て製造ノ軍艦鳳翔十三年午後三時
十五分時滞リナク進水相済候条

右通知ス

3

捺原納

0358

郵政本部

附記

第四部長

第五部長

總務部長

鳳翔本
右報告ス

第二課長
第一課長

製圖

海軍大臣

大正十年十月十三日午後三時五十分

横須賀鎮守府司令長官

鶴見發
海軍省着

10.11.17

8633
五番附
10.11.15
受接

10.11.17
本廳
受接

0359

起案罪紙

大正十年二月十七日起案 起案者 三月廿一日發付 發付掛 發付後起 案者捺印

(提案) 經政本部長

大臣 副官

次官 參事官

軍務局長

第一課長 第二課長 第三課長

先 軍令部長 經理局長 第一課長

大正十年三月廿一日

二月八日附進 官房機密第一九號 三軍艦鳳

11.3.1 受 11.3.17 第三課 11.3.15 三本艦 11.3.1 11.3.2 受接 11.3.2 受接

官房 三月廿四日 局部 受月日發付日

0360

(正心堂)

0361

アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp/>

艦政本部

二月

第六部
第四部
總務部

横廠機密第一九號ノ五

大正十一年三月四日

横須賀海軍工廠長 丹 龍 掛 四

大臣事務管理

大臣 子爵 高橋 是清 殿

風潮工事機定概括表ノ件

第六部 軍艦風潮工事ハ左記理由ニヨリ別紙ノ通り工事機定變更致度候條御認許

相成度 第三課

右 具

第二課
第一課

左 記

- 一、飛行甲板、艦橋等ノ改造ノ爲メ工事遅延セルコト
- 二、米國「スチール」社ニ駐文セル全艦用「スタビライザー」

艦本機密第一四九號

海 軍

0362

160.10.

<p>ハ昨年十一月到着ノ豫定ノ所本年三月中旬迄遅延セルコト</p>	<p>三、本艦上飛行機着停機置ハ未ダ實驗中ニシテ決定案ヲ得ザルコト</p>	<p>四、軍艦長門主砲換裝ノ爲メ本年五月中ハ二百屯起重機及小海岸壁ヲ全</p>	<p>艦ノ爲メ占有セラレ本艦ノスタビライザ一横込其他ノ工事ヲ阻止セ</p>	<p>ラルルコト</p>	<p>(終)</p>							<p>海軍</p>
-----------------------------------	---------------------------------------	---	---------------------------------------	--------------	------------	--	--	--	--	--	--	-----------

0363

軍艦風翔工事進定概括表

順序	名	種	着手年月日	竣工年月日	備考
一	起		工大正九、一、二、二六		
二	進		水全一〇、一〇、六		
三	繼	積	込全一、二、上旬全		
四	主	被積	込全一、四、上旬全		
五	進	積	込全一、五、上旬全		
六	進	行進	轉全一、一〇、下旬全		
七	公	試	轉全一、一、上旬全		
八	試	機	全一、一、中旬全		
九	大	砲	全一、一、下旬全		
一〇	引		渡全一、一、下旬全		

十一年一月十日淺野造船所ヨリ船殼納入

海軍

起案郵紙

大正十年四月十三日起案
起案者 捺印

艦政本部長

岡田

總務部長

田中

四月十五日發付
發付掛 捺印

發付後起
案者捺印

田中

本艦 11.4.20 受接

0365

大 次官

副官
參事官

經理局長

勝

第一課長

藤田

軍務局長

藤田

第二課長

藤田

局員

樺鏡長官(坂)

訓令案

大正十年四月二十五日

特務艦回國報告(其旨)算増額ノ件

大正八年官房機密第一三九五號訓令本艦副長

官房機密第五八九號

局、部	官房	軍務	人事	艦政	機關	醫務	經理	法務	技本	造兵	教育	臨建	水路	軍令
受月日	發月日													

經理局 11.4.21 接受

11.4.14

豫算書

工事名稱	支出科目	前訓令額	増額	改訂額	内 私俸費	機関費	備品費	額						
								七二九一六五五	五三四〇七一	七八三三七二六	四八二七五五五	二八七六五七一	一三二六〇〇〇	支
航空母艦建造	軍備補充費 軍艦製造費 造出費 特別修繕	七二九一六五五	五三四〇七一	七八三三七二六	四八二七五五五	二八七六五七一	一三二六〇〇〇	七二	九	十	十			
								一九〇〇〇〇〇	五三九一六五五	三六三七五五五	一六四二五〇〇	〇	〇	〇
								〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
								〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
備考 本豫算額中六分は備蓄額なり								〇	〇	〇	〇			

0367

紙 郵 案 起

大正十年五月十日

日起案 起案者 捺印

柳田

五月二十日 日發付

發付掛 捺印

小野

發付後起 案者捺印

柳田

11.5. 11.5. 11.5. 5. 11.5.

0368

提議 艦政本部長

總務部長

大 次官

副官 參事官

第三課長 第二課長 第一課長

第四部長 第五部長

經理局長

第一課長

軍務局長

第二課

軍令	水路	臨建	教育	造兵	技本	法務	經理	醫務	機關	艦政	事務	官房	局部

大正十年五月十四日

横濱鎮司 司令官

特務艦政司 柳田 勅諭

號番

官房機

五九 號

毎

巨

本年四月官位方機券第五八九號訓令本體製
造費豫算ヲ別紙用紙ニ
右訓令

(別紙を添付)

(終)

(報文社印)

0369

豫算書

海軍

精選本第十三行單紙

支 出 科 目	平 事 名 稱	年 度			
		大 正 十 年 度	大 正 十 一 年 度	大 正 十 二 年 度	大 正 十 三 年 度
軍備補充費	航空母艦建造費	〇	〇	〇	〇
軍艦製造費		〇	〇	〇	〇
造船費		〇	〇	〇	〇
第七種特設艦		〇	〇	〇	〇
總額		〇	〇	〇	〇
前訓令額		七、八五、七六六	一、九〇〇、〇〇〇	五、三九、一六五	五、三四、〇七一
増額		一、八六三、〇八三	〇	〇	一、八六三、〇八三
改訂額		九、六八八、八八九	一、九〇〇、〇〇〇	五、三九、一六五	六、三九七、一五四
内私俸費		六、六九〇、六三八	一、二〇〇、〇〇〇	三、六二七、五五九	一、八六三、〇八三
機械費		二、八七六、五七一	七〇〇、〇〇〇	一、六四二、五〇〇	五、三四、〇七一
預備品費		一、三六〇、〇〇〇	〇	一、三六〇、〇〇〇	〇

備考 本豫算書中ハ付屬馬多ク含ム

(富井納)

0370

大正十一年 七月十九日起案 起案者 藤印

(提案) 艦政本部長

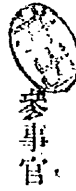


大臣 閣

副官



次官



岩村 第二部長



第一課長



軍務局長代 第一課

經理局長代



第一課長



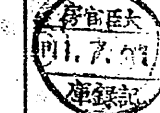
軍令	水路	臨建	教育	造兵	技本	法務	經理	機務	艦政	軍務	官房	局部
												受日
												發月
												口

總務部長

第三課長



大正十一年 七月十九日發付 藤印



大正十一年七月十九日

指令案

大臣

橫濱機密第六九號と申航空母艦鳳翔式装束、
許し要スル費用ハ本官製造費支弁トシ請示

官房機密第九八〇號

一

二

0371

後別途記

(2)

0372

海軍
艦隊
算
鳳

本艦
116.30
受獲
六月三十日

0373

紙用箋附

大正七年七月二日
第三課
海軍艦政本部第二部
夏村 啓

0374

航空母艦鳳翔丸裝費
水路計器
雷豫算内款書

番號	工事名稱	數	工費	材料費	附屬費	計
一	導氣管	四〇〇〇	三〇〇〇	九三〇〇	三三二〇〇	
二	氣壓計	五	一〇〇〇	一三三〇	二三五〇	
三	裝氣柱	七〇〇〇	一〇〇〇	五〇〇〇	一〇四〇〇	
四	氣蓄器	三〇〇〇	六〇〇〇	六〇〇〇	三〇四〇〇	
五	空氣壓縮機	八〇〇〇	六〇〇〇	九二〇〇	五三五〇〇	
六	排氣柱及弁	二〇〇〇	一五〇〇	五九〇〇	二二五〇〇	
七	氣壓計用塞止弁	二〇〇〇	一〇〇〇	一七〇〇	四七〇〇	
八	縱機調整用氣蓄器	一五〇〇	六〇〇	七〇〇	三九〇〇	
九	演習頭部格納裝置	四五〇〇	七〇〇	八〇〇	五八〇〇	
一〇	魚雷格納架	六〇〇〇	三〇〇〇	五〇〇〇	三三五〇〇	
一一	縱機調整	一五〇〇	六〇〇	五二〇〇	一六三〇〇	

0375

紙用箋附

大正11年

陸軍

一六三〇	二五二八	二八〇六	三九八〇	四七〇〇	五二九〇	五八〇〇	六二〇〇	六五〇〇	六九〇〇	七三〇〇	七五〇〇	新
------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	---

0375

紙用箋附

大正11年7月4日

海軍艦政本部第二部

陸軍甲種予兵納此名簿ニ送附部所共手

0376

✓ 濟

大正十一年八月八日起案
起案者 除印

(提案) 局長

大臣 閣

次官



參事官

副官



岩村

第三課長



東下部園

第一課長



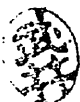
軍務局長 南 第一課



經理局長 加藤 第一課長



第一課長



指令案

大正十一年八月十四日

大臣 閣

横領機密第七一號之申航空母艦圖翔子表
件認詳以要之費用亦與製造費並費之

號番

官房機密第一三五號

大官房 11.8.14 庫録

經理局 11.8.12 接受

本館 11.8.13 受接

三本館 11.8.13 受接

軍令	水路	臨建	教育	造兵	技本	法務	經理	機務	機關	臨政	人事	軍務	官房	局部
														受月日
														發月日

發付後起
案者除印

11.8.13

0378

請求後別途配付ス

(終)

0379

艦政本部

第三部

總務部

大正十一年七月三十一日

橫須賀鎮守府司令長官 山屋 他人

海軍大臣 男爵 加藤友三郎 殿

航空母艦鳳翔兵裝一件

大正十一年十月官房機密第一三九五號ヲ以テ製造
訓令ノ航空母艦鳳翔電氣兵装ニ別圖ノ

別紙豫算編成セシム之ニヨ
リ工務別紙ヲ認許相成度
右ノ上申ス

出圖第三一四迄六十一葉

別紙豫算書一葉

添

四圖三部係屬

官房機密第一三九五號

11.8.5 受
二總艦 11.9.4 受
三本艦 11.8.3 受接


海軍房受

本館 11.8.3

八月一日

0380

大正 年
總務部 第三部
機密 第一三九五號

三 部 傳 受 不 志 送	三 部 傳 受 	之 ニ ヨ 三 部 傳 受	以 テ 製 作 告 白 別 圖 ノ 三 部 傳 受	以 テ 製 作 告 白 別 圖 ノ 三 部 傳 受	以 テ 製 作 告 白 別 圖 ノ 三 部 傳 受	本 館 11.8.3. 送 八月二日
---	---	-------------------------------------	---	---	---	------------------------------------

海軍 房受
 受
 三木 櫻
 11.8.3
 受接

0380

大正 年 月 日
 海軍艦政本部第三部
 三
部
傳
受
 送
 0381

航空母艦鳳翔兵装費電氣豫算内款書

番號	之 事 名 稱	数	工 費	材 料 費	附 屬 費	計
一	一次電源装置		五三三〇	四三三〇	二二五〇	八三九〇
二	二次電源装置		一七四〇	八九〇	四三三〇	二一〇〇
三	白熱燈及防着用送風電動機装置		四九七〇	三三九〇	八二四〇	一六六〇
四	探照燈装置		六九三〇	五五六〇	一六一〇	一三〇〇
五	高聲電報装置		五三〇〇	四三三〇	五九〇	一〇二〇
六	無線電信及電報装置		五三三〇	三九〇	三三三〇	九〇〇
七	航海科通信装置		一三三〇	五八〇	一〇九〇	五九〇
八	機関科通信装置		六六〇	三三三〇	三三三〇	八二〇
九	戦闘科通信装置		五三〇	五五〇	六八〇	一七六〇
一〇	電氣兵隊計装置		五三〇	二六〇	一〇一〇	五九〇
一一	緊急通報装置		三三〇	二六〇	一〇一〇	五九〇

0382

三	呼 鐘 裝 置	三三〇〇	三三〇〇	三三〇〇	三三〇〇	三三〇〇	三三〇〇	三三〇〇
二	傳 聲 管 鐘 裝 置	九〇〇〇	一七〇〇〇	一〇七〇〇	一〇七〇〇	一〇七〇〇	一〇七〇〇	一〇七〇〇
一	電 動 機 裝 置	五五〇〇	一七五〇〇	一〇五〇〇	一〇五〇〇	一〇五〇〇	一〇五〇〇	一〇五〇〇
一	重 油 取 給 電 裝 置	五〇〇〇	一六〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇
一	電 燈 燈 飾 裝 置	九〇〇〇	三〇〇〇〇	一〇五〇〇	一〇五〇〇	一〇五〇〇	一〇五〇〇	一〇五〇〇
一	電 氣 試 驗 裝 置	二七〇〇	三〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇
一	轉 輪 抑 動 裝 置	六六〇〇	六六〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇
一	電 氣 雜 裝 置	七五〇〇	三〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇
六	公 試 及 試 驗	三〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇
	合 計	一〇六〇〇〇	三〇〇〇〇〇	一〇〇〇〇〇	一〇〇〇〇〇	一〇〇〇〇〇	一〇〇〇〇〇	一〇〇〇〇〇

0383

一月十五日

木村部 欠

藤田部 欠

本件表典由部欠電伝交傳マモルナリ

従来書類、四見之對し、原々申言神ヲ類ニ来リシ、既猶原座迄勝ヤルガ

書類、性候ニテ、時様ヲ欠セテ、之間、有之置候ニ存候位、不討ニ

本件軍務ヲ性意ヲ喚起セシ、恐懼至抱ル、今迄、性意可致ト

回着シ、案ヲゴシ、候之本件、如ク、向端者、課ニ能ク在者、性意可致ト、

書課ノニ、テ、向ト、七、難、取、者、都、課、者、員、御、接、助、ヲ、乞、フ、外、

二、途、有、之、神、存、案、從、来、ヲ、一、段、申、言、候、ヲ、類、及、切、之、置、候、也、

仕、能、者、御、知、位、申、回、候、類、ナリ

者、之、申、概、概、善、更、承、取、認、如、キ、大、臣、若、部、長、等、(各、別、之、紙、出、候、故、之、才、

一、二、入、事、也、ナリ、夫、レ、取、案、盡、理、之、所、申、内、回、覽、申、大、臣、品、也、

御、看、見、下、之、シ、テ、後、付、軍、務、等、之、回、也、ハ、從、来、ヲ、一、層、建、立、候、所、也、
申、下、存、候、所、也、申、候、(從、来、ハ、大、臣、品、也、今、迄、御、申、下、申、候、所、也、申、下、申、候、所、也、)



0385

大正十一年十二月二十七日工事竣成致候條其旨

行執奏相成度

拓申進ス

一三〇

(銀文社均)

0387

艦政本部 岡田

第四部長

第六部長

總務部長

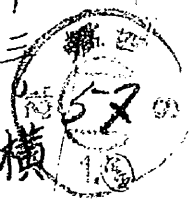
大正八年十月官房機密第一三九五号
第一課長 第二課長 第三課長 第四課長 第五課長 第六課長 第七課長 第八課長 第九課長 第十課長 第十一課長 第十二課長 第十三課長 第十四課長 第十五課長 第十六課長 第十七課長 第十八課長 第十九課長 第二十課長 第二十一課長 第二十二課長 第二十三課長 第二十四課長 第二十五課長 第二十六課長 第二十七課長 第二十八課長 第二十九課長 第三十課長 第三十一課長 第三十二課長 第三十三課長 第三十四課長 第三十五課長 第三十六課長 第三十七課長 第三十八課長 第三十九課長 第四十課長 第四十一課長 第四十二課長 第四十三課長 第四十四課長 第四十五課長 第四十六課長 第四十七課長 第四十八課長 第四十九課長 第五十課長 第五十一課長 第五十二課長 第五十三課長 第五十四課長 第五十五課長 第五十六課長 第五十七課長 第五十八課長 第五十九課長 第六十課長 第六十一課長 第六十二課長 第六十三課長 第六十四課長 第六十五課長 第六十六課長 第六十七課長 第六十八課長 第六十九課長 第七十課長 第七十一課長 第七十二課長 第七十三課長 第七十四課長 第七十五課長 第七十六課長 第七十七課長 第七十八課長 第七十九課長 第八十課長 第八十一課長 第八十二課長 第八十三課長 第八十四課長 第八十五課長 第八十六課長 第八十七課長 第八十八課長 第八十九課長 第九十課長 第九十一課長 第九十二課長 第九十三課長 第九十四課長 第九十五課長 第九十六課長 第九十七課長 第九十八課長 第九十九課長 第一百課長
右報告ス

海軍大臣

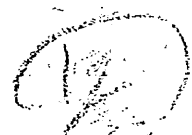
横須賀鎮守府司令長官

大正十一年十二月二十七日午

前二一三 横須賀鎮守府
后一五四 海軍局着



一月廿日
甲 報 261/10



0388

軍務局

十二月三十一日

本艦本日横須賀海軍工廠長ヨリ授受結了致候
右報告ス

横須賀鎮守府司令長官財部彪殿

鳳翔艦長豊島二郎

大正十年十二月

軍務局受
12.2.21

0390

第三〇八〇号

第四部代
第一課

新庄部員

藤本部員

國村

終

12.3.20
受

12.3.1
受

12.3.2
受

12.3.22
受

11.12.27
受